



全国酸素部会新聞

発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町12番

TEL 072-276-4320

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>



11.6中央行動

「改憲阻止・大軍拡の推進反対！賃上げと雇用を守る秋闘を展開しよう！」を掲げ、中央行動11.6に参加してきました。

東京都内で中央行動を実施し、全国から組合員約300人が参加しました。中央行動は、組合員の切実な声を政府・関係機関に直接届け、労働条件や生活の改善を求めることを目的に行われました。

行動では、賃金問題の解決や労働環境の改善、賃上げの実現などを求め、国会周辺での要請行動や集会が行われました。集会では主催者あいさつのほか、各地の組合員から現場の実情が報告され、「このままでは働き続けられない」「安心して暮らせる社会を実現したい」といった切実な訴えが相次ぎました。

参加者はプラカードや横断幕を掲げ、「トラック労働者の生活を守れ！」「生活関連の公共事業をふやせ！」と声をあげ、要求の正当性を力強くアピールしました。

13時30分〜トラック部会は国交省交渉、厚労省交渉、議員要請行動へ分かれ各関係省庁へ交渉を開始しました。国交



省、厚労省への交渉については、「改善基準告示」「過労死認定基準」などとの関連や「働き方改革関連法」付帯決議との関係で、過労死等防止に向けた再検討をおこなうこと。などの交渉が行われました。

国交省、厚労省の答えは、データベースに基づく返答しかなく、今後も粘り強く交渉して行く事が大切だと感じました。

中央行動の必要性や自分自身の経験としても、若い世代の人たちの参加をお待ちします。

建交労は今後も、組合員一人ひとりの声を力に、要求実現に向けた取り組みを強めていく決意です。

大陽液送分会 東堀俊

春闘中央討論集会



11月23日(日)、24日(月)サンバレー富士見にて2026年春闘方針を議論する「春闘中央討論集会」が開催され、組合員約84名(酸素部会からは11名)が参加しました。

足立委員長が挨拶され、「物価上昇が続く中で、実質賃金の回復と働く人の生活を守る闘いが不可欠だ。仲間の声を春闘方針に反映させ、職場から運動をつくり上げていこう」とお話がありました。

続く2026年春闘方針では、昨年の取り組みの成果と課題をふまえ、定期昇給の確保・ベースアップ要求・人員増と長時間労働の是正など廣瀬書記長から

からお話がありました。

その後の分散会では職場の実態や春闘要求に向けた意見交換が活発に行われ、参加者からは「物価高により生活が厳しい」「人員不足による過重労働をどう是正するか議論すべき」「思い切った賃上げが必要」といった声が聞かれました。

翌日の24日には分散会の意見を反映した討論まとめが報告され、春闘期に向けて組合全体で取り組みを強化していく重要性が確認されました。

2026年春闘中央討論集会は森谷副委員長の閉会挨拶と団結がんばろうで閉会しました。

大陽液送分会 永野一樹

全国トラック部会第27回総会



全国トラック部会第27回総会は、静岡県伊豆長岡「ホテルサンバレー富士見」において、建交労中央春闘討論集会終了後の11月24日(月)に総勢45名、酸素部会からは9名の参加で開催されました。

足立部会長の挨拶では、「業界を改善するために少しずつ動き出している。地方においても労働組合としてしっかりとチェックすることが求められている。また、要求闘争をしっかりと進めることが必要で、春闘において大幅賃金の引き上げ、社会的地位の向上に向けてとりくみ、6月に成立したトラック適正化法をしっかりと理解して、荷主・企業に対して伝えていき、賃金・労働条件につなげていくことが重要である。業界を変え、社会的地位を向上していくことなしに改善することはない。」と挨拶されました。

議案提案においては、鈴木事務局長から2025年度活動報告及びまとめと、2026年度方針が提案され、討論では16名が討論に参加、

酸素部会からは6名が発言し、発言により活動報告と方針が補強され、総会は全ての議案と「総会宣言」を採択しました。

最後に足立部会長の団結がんばろうで散会となりました。

テーエス支部新潟分会 結城喜一



サンタになって養護学校の子供達にX'masプレゼントを♪

テーエス倉敷新人の井上です。私は沢山の方に支えられて15歳からオートバイのレースを走らせて頂きました。支えて下さった皆様への感謝の気持ちを、レースイベントを通して世の中の方へ何か恩返し出来ないか?笑顔の輪を繋げていくには…、毎日毎日考えて…考えて…。そうだ!『チャリティーレースを主催して養護学校の子供達にX'masプレゼントを届けよう♪笑顔の輪を繋げ増やそう♪』そこからは、養護学校へアポ無し連絡(笑)、企画書作成、主旨説明、イベント内容を決め、スタッフを集めて打合せ…。やーっとイベント告知、さらに一番難しい集客(笑)沢山の問題をスタッフと何度も打合せして、今年で4回目のサンタさんに♪

まずは自分達が企画して、レース参加者の皆様に無料で4時間のレースをプレゼント♪皆がレースで笑顔になったら…最後に楽しかった価値を寄付に変えて、養護学校の子供達の為にサンタさんになって頂きます♪気持ちが沢山詰まった寄付を、絵本や三輪車、玩具やエアコンに替えてX'masに子供達に届けて♪無事サンタさん完了!です。主催は本当に大変だけど、イベント参加者の皆さん、子供達、先生方の笑顔を見ると、また来年もサンタ変身決定やなっ!ってなります(笑)

今年も既に100名近いエントリーを頂き♪スタッフも含め皆でサンタクロースになって来ます♪仕事も大切!でも時間は永遠にはありません。限りある時間を何に使うのが自分が一番幸せか?常に考えて～考えて～後悔が残らない人生に♪人生の意味は、楽しむ事(笑)

さっ♪皆さんは今日残された人生で、何をやめて何を乐めますか?

テーエス支部岡山分会 井上拓朗



大陽液送第43回大会



大会の中で来春闘についても議論された一部分を抜粋して書かせていただきます。2026春闘に向けて、2025年より子会社から孫会社になり2025年末一時金の交渉結果が想定より悪く会社側の回答も低かったように思いました。2026春闘の世間の賃上げ率は5.2%程度を予想されています。せめてそれを上回る回答を引き出せるよう分会一丸となり交渉を進めていきます。

大陽液送分会 穀谷澄男

11月28日(金)大陽液送組合事務所にて大陽液送第43回大会が行われました。

各方針案、会計報告が満場一致で採択されました。また本年度より大会運営を次世代へ引き継ぐため新組合員2名に議案書作成から大会進行までを任せました。この2名のおかげで無事に大会を終えることができました。



江藤運輸分会第46回定期大会

11月23日(日)大分市内の公民館の一室で江藤運輸分会第46回定期大会を開催しました。

近隣の工場プラントのトラブルの影響で仕事が忙しい大牟田営業所からは参加できず、大分、小倉営業所から総勢10名の参加となりました。

我々の江藤運輸ではこの先ベテラン社員たちが続々と定年を迎える時期がやってきます。そのときに組合を維持し、組織拡大していくために新しい人材の確保が急務となります。そのためにも今後、より良い労働条件を獲得していかなければなりません。春闘や一時金の交渉結果も目先の



賃金だけではなく、10年後、20年後の職場環境をつくっていく、そんな意識を持って取り組んでいきたいと思います。

活動方針や役員人事などに大きな変更はなく、議事はスムーズに進行、変わらないのは安定しているから、と前向きに考えつつ、これからも地道に持続的な活動をしていきたいと思います。

最後は恒例の、合同支部委員長も務める秋岡氏のガンパロー三唱で締め、進行中の一時金交渉にむけて団結を確認し閉会となりました。

江藤運輸分会 日名子雄介

